

東京れぽおと

発行
東京の
うたごえ協議会
Tel: 03-3200-4977
Fax: 03-6801-7399
Email: touukyou
@max.odn.ne.jp
URL: https://tou
ukyou.ciao.jp

うたごえ80周年を語る会を開催しました

うたごえ祭典とは人々の 国民の生活の絵巻である

八月のサークル代表者会議を経て、文京区男女平等センターでうたごえ80周年を語る会が24団体51名(含常任委員)の参加で開催されました。

堀喜美代さんの講演

戦後の1948年、うたごえが誕生した時は国中が焼け野原だった。今もウクライナ、ガザの惨状をニュースで目にする、誰もがこんな戦争は無くさねばと思うはず。日本では戦後、戦争を許さない運動が国民の中に興った。母親運動、(原水爆禁止のような)平和運動、そしてうたごえ

運動。うたごえ運動は平和のための音楽運動というところで極めて重要な存在。「うたごえ」でなく「運動」が付いているのが重要な点だ。その肝は「音楽をいかに平和のために役立てるか」。戦後のメーデー、50万人集まった労働者のエネルギーがあった。その中で、労働運動の中でメーデー歌も生まれていった。関鑑子先生は50万人のメーデー参加者を見て、必要なのは一人の歌手ではなく、50万人に歌を届ける

く、50万人に歌を届けることができる100人の歌い手、と考えられた。そして中央合唱団の発足を以て、日本のうたごえ運動が始まった。うたごえの真髄は「平和を守ること」だ。



うたごえを語る堀さん

当初民青(当時は青年共産同盟)の合唱団として創られた中央合唱団は、政治活動ではなく音楽運動として広範に運動を広めるために「青共」をはずし改称した。中央合唱団は働く者の心、平和を歌う合唱団というスローガン

を掲げて、多くの労働者と手を繋いでいった。当時は労働歌が中心、働く者の心に届く曲を、という方針だった。中央合唱団はうたごえを広めるためにオルグ演奏活動を旺盛に行っていた。その演奏を聴き、一緒に歌いたい、仲間入りしたいという感動に包まれて、うたごえの輪に入った(註:堀喜美代さんは中央合唱団研究生6期生)。

団創立10年頃に、都内東西南北に中央合唱団のような「中心合唱団」を設立しようという方針を持ち、東青、南部、三多摩:と担当常任(専従)が合唱団を創る運動を広げた。今日みなさんと一緒に歌おうという「みんなが笑う日まで」は当時とてもよく歌われた曲、ここにうたごえの目指すものが込めら

れている。みんなが笑う日、それはこんにちの政治の宿題である。このような作品を生み出す創作活動も、うたごえには極めて重要。生活を歌う。次回お会いするまでに、ぜひ全てのサークル合唱団が1曲は作ってください。

うたごえ祭典とは、に触れると、うたごえ祭典とは人々の、国民の生活の絵巻である。東部で活動しているのが東部の祭典に参加するが、生活感溢れる人たちが集まっている。その中でも足立区は単一の区で祭典をずっと長く、毎年開催していて素晴らしい。人々の生き方がナマで伝わってくるのがうたごえ、うたごえ祭典の素晴らしいところ。生活を歌う、生活を交流する

※2面に続く

サークル紹介「東京年金者組合合唱団」

年金合唱団は、今、東京都本部で毎年開催している「文化のつどい」での出し物の成功に向けて、頑張っています。

★12月17日火曜日
板橋の「成増アクトホール」で発表します。

「私たち高齢者の生きる力は文化です」という委員長の挨拶をつけて各支部に

アンケートを出しました。その結果、オープニングの大合唱の演奏に「地底のうた」を全組合員に呼びかけました。年金組合合唱団を中心、練習日を決めどな



北部合唱発表会の演奏

たでもと呼びかけると、僕も私もうたえまうという声が上がりました。

指揮を私たち合唱団の指揮者高田一広氏と決め、9月から練習にとりくんでいます。

まだ、練習日がありますので、これからでも、どなた

でも是非参加してください。
練習日:
12/9

駒込地域文化創造館
14時から
・当日11時からリハーサルがあり、そこに参加されれば本番も歌えます。

※ 1面からの続き
ところだ。合唱コンクールは、演奏はきれいだけれど生活感が見えない。東京の各区、各市で、合唱発表会だけでない「祭典」をぜひ広げてほしい。



講演を聴く参加者の方たち

先日「電通のうたごえ祭典」に参加した。電通のうたごえが広がっていった当時のことがまざまざと思い出される。市外電話局にオルグに行って、たった一人の人とようやく話ができて、そこから職場にうたごえが広がった。女性の職場であるが、休憩室に集まってくれて歌った。最大集まった時はなんと93人！排除しようとしていた組合も認めざるを得ない活動となった。社屋に部外者は入れないので守衛さんにとがめられないよう、女性労働者たちがうまく連れ込んでくれたのも楽しく懐かしい思い出。郵便のうたごえも、神田郵便局、中央郵便局と、何もないところに「どう種を蒔くか」、まず一人から声をかけて…と広げていった。うたごえを国中に広げる活動は、専従が各地に赴いて中央合唱団音楽会のオルグを繰り返した。

自分は九州担当、1000人規模のコンサートも20箇所です。という途方もない計画。どうしたらできるか、知恵を絞り、まず「世の中を変えたい」という心を持った人たちに会おうとアポをとっていった。たばこの専売局では昼休みに行っていきなり「トロイカ」を歌うと、お弁当を食べていた女性労働者たちのアルマイトのお弁当箱のカチャカチャした音がピタッと止まり、歌を聴いてくれ、話を聞いてくれた。おじさんたちの職場では「トロイカ」でなく、民謡を。こうして理解してくれる人を広げ、組合にチケットをあげ、組合にチケットをあげ、組合にチケットをあげ、実現させた。全九州を巡ったが、残念ながらこの時佐賀ではオルグができなかった。今回のうたごえ祭典は佐賀開催ということで、非常に楽しみ。

参加者の発言

このように広がっていったうたごえ運動、80周年という節目にぜひ東京で開催してください。

東京郵便合唱団・堀江

・8/3の会議にも参加した。東京はサークル数もうたごえ新聞も全国最大。うたごえ祭典をやらない、ということにはならない。ぜひやろう。情勢、4年後はどうか分らないが、戦争なくせ、平和



開会挨拶と提案

をというテーマは変わらない。ほかには気候問題もあり、どうれっしや、原発まっせ、生活の問題などもテーマになつてく

るだろう。足立の祭典のようなものを、各区でも努力してやつてはどうか。年齢の問題では4年後には80歳近く。メンバーが10年前と替わっていない問題もある。祭典に向けて、どう組織を広げていくかをしっかりとやっていこう。会場も安いところで入場料を安くできるようにしたい。

三多摩教職員合唱団・箱崎

・うたごえ80周年を祝う気持ちはあるが、それは祭典ということなのか、また大会場でやるのが良いのかどうか、どういう開催が良いのか、各団体で討議して運動を作っていく必要がある。2028年の前、2026年に教育の祭典（交流会）を東京（三多摩）で開催予定。そのためのアンケート（教育関係の個人、団体などの紹介）をみなさんをお願いしたい。

杉並ぞうれっしや合唱団・

猫

・19にぞうれっしや75周年記念コンサートをセシオン杉並で開催する。う

たごえ80周年についてはまだ団内で話していない



杉並ぞう猫さん

が、西部ブロック連絡会では一定程度話し、高齢化が進んでいる中でどうしたらできるか、という意見が出ています。今の堀江さんのお話では祭典の意義を感じた。地方の人たちが東京に来て楽しく歌えるように、金銭的にも負担が大きくないものにできればと思う。

三多摩青年合唱団・林

・私たちは何のために歌っているのか、うたごえは平和に貢献していると実感した。三青60周年で記念誌を作成した。三青も高齢化で、中心メンバーが70代。祭典について、どういことなら出来るかを考えた。今までのやり方で良いのか、内容も考えて。アリーナで何千人という開催は無理だと思う。これは三青運営委員会の意見である。いろいろ合唱団・山田

・堀江さんのお話を聞いて、

あらためてうたごえは運動であると思った。3、4年後の情勢ははっきりとは決められないが、政治や暮らしとどう結びついていくかという文化運動がうたごえである。職場の中にどう入っていくか、という運動論を考えていかないとけない。自分はを退職し現在は全国一般の委員長。職場は今、組合組織率も低下



いろそら山田さん

ほとんどの労働者が未組織。その中でどううたごえを響かせるのか、若い人に接近したいが呼びかける先が見えない。かといって目標を小さくすれば良いわけではない。規模についてはどの程度が良いのかは言えないが、実態、要求をきちんと押さえて政策化していく運動が不可欠だ。

調布柏江合唱団・鈴木・うたごえが果たしてきた社会的役割は大きい。郷土の活動は、今年34団体が結集して「江戸やっ

こまつり」を成功させた。ここには若い人も子どもも参加している。そういう人たちと手をつないで、つながっていかねば。

南部合唱団・大井

・うたごえ全国協議会事務局として、この間佐賀のがんばりをずっと見てきた。佐賀ははじめ2団体だったサークルを6団体にし、会員も20数人から60人以上へと増やしてきた。うたう会を旺盛に開催して、一緒に歌う人を広げ獲得してきた。現在歌って参加する人の登録は400人以上。東京は会員が750ぐらいいるし、高齢化しているといつても



当日の参加者の皆さん

まだまだ元気。佐賀では地域実行委員会を丁寧に広げてきた。それが佐賀アリーナで結実しようとしている。祭典は小さい

会場です。やっつては広範に誘う運動が展開できない。有明コロシアム（60周年）のように大会場1回開催ならば広げられるし財政的にも効率が良い。職場の状況は厳しいが、例えば『国鉄はローカル線を守る地域の運動と結び、教育のうたごえは保護者と一緒の運動を展開している。このように今の状況に合った運動を進めることは可能だし、やっつていかねばと思う。うたごえ祭典はどんな力を持っているのか、を学び、広げて広げて、の運動を作っていく。

と、常任委員にも若い人が必要だ。従来の枠にとらわれず、若い人が参加しやすい共感してもらえらるものを考えよう。会場がどうか、でなく、歌、内容をよく検討していこう。

三多摩教職員合唱団・箱崎

・佐賀のうたごえの頑張りはすごい。が、終わってからガクツとこない心配。年齢とともに疲れをひきずりがちなので、合唱団北星・山田

・祭典開催を機に、うたごえをもう一歩広げていくことが大事だ。4年後自分がどうなるかはわからないが、80周年のその先を考えていかなければいけない。若い人がいないと言われるが、全国を見れば、例えば医療では長野・佐久厚生連の若い人たちが素晴らしい演奏をしている。決してもうダメではないので、今の力を広げる運動を。合唱団この灯・武田

・祭典開催を今日の会議で決定しても良いと思っている。「この灯」は今年団長、事務局長とも交代した。人が代わること



この灯武田さん

で今まで気がつかなかったことが発展的にとりくんでいけるようになった。それぞれの団体が団内で新陳代謝していくことが大事だ。また運動は続けていくことが重要。今回の祭典開催については、話し合いの場の設定など、以前よりもテンポが速く、準備が良いと思う。どんなことがあっても祭典開催しよう！

合唱団白樺・井藤

・東京の常任委員をやって16年、後釜が作れていなくてすみません。「白樺」は各パートに「うたごえ担当」を配置、6人体制。この人たちが、新しい人が入ったらすぐうたごえ新聞をすすめている。「白樺」はうたごえの中で異質と思われるいるかもしれないが、第1回日本のうたごえ祭典（1953年）ではすでに参加しており、ほぼ一緒に活動のスタートを切っている。



南部の加山さん

る。70周年祭典ではサブアリーナの国際交流企画で出演、表舞台の企画でなく残念。80周年祭典ではリベンジしたい。希望を持って80周年に向かいたい。そういう目標がないと活動の張り合いがない。

南部合唱団・加山

・4年後、現有勢力のままだは厳しい。それぞれいろいろな団体と地域で関わり、つながりを持つ



年金合渡辺さん

ざしてつながりを強めていこう！

年金者合唱団・渡辺

・年金者組合も会員が減ってきている。まだ働いているから、という人もいるし亡くなる人もいて、しかし高齢者はほとんど増えていくし、私たち高齢者は今の政治にいじめられている。11/8日比谷で「年金一揆」、ここで東京の年金者は『東京ブギウギ』を歌って踊る。また12/17には年金者組合「文化のつどい」開催、各支部の出し物が持ち寄られる。開催が危ぶまれたが、文化は大事、小規模でもやろうということになった。『地底のうた』も年金者合唱団を中心に演奏することになっている。

60周年祭典に時は、当時の会長が賛同してくれて、広く呼びかけてくれた。今、年金者組合の歌もできて意気軒昂だ。

合唱団TOSSEI:佐宗

・TOSSEIも平均年齢70歳を超えた。若くはないが新メンバーも入団、元教員の方。考え方は「憲法9条を変えよう」という人だが、この人が将棋クラブを通じて誘った新団員がこれまた社長という肩書きの人で、我々と考え方が違う。ところがこの2人が熱



TOSSEI 佐宗さん

心で、要員を引き受けてくれたり、演奏に行ってくれたり、活躍している。自分の居場所、活躍できる場ができたので、一生懸命やってくれるのだろう。高齢でも、自分のやりがいを見いだすことが社会を変えていく力になると思う。歳をとっても「だめ」でなく、元気でやっていることを評価しよう。自分の勤務する学校現場には、若い人はいっぱいいる。仕事も厳しいのだが、歌とかバンドとかいろいろやっている。音楽的要求があると思う。但し、即うたごえの歌で引き入れるのは無

理、一緒に山に行ったり、校内の行事で歌ったりと、そういうつながりに期待しているところ。東部のうたごえの合言葉は「東部のきずな」。毎月の会議には20人以上が参加するし、街頭行動もみんなで行っている。指導者の横のつながり「まなこい」もあり、仲良く連帯している。このしかけ人は長久さん。すぐくパワーがあるが、まわりにも手伝ってもらって広げ、バトンタッチしていければと思う。そのためにも80周年祭典やろう！と決めて40〜50代のアイディアが生かせるような運動ができればと思う。



統計の山田さん

・11/9にコンサート開催。高齢化はあるが、今できる統計オンチクラス：山田

の接点を作れないかと思う。若い人たちもいた。職場（統計局）にはコンサート応援をお願いしたり、若い人にも声をかけた。今回だめでもまた次の機会に、とつなげたい。

・先程も発言したが、補足したい。祭典開催については、一致点を大事にして討議をすすめたい。大音楽会の歌い手組織に目が行くのは当然だが、国民的要求、職場の課題などを丁寧に掘り起こして祭典運動に反映させていくことが必要だと思う。民主的な運動の中でも歴史の長いうたごえ運動、一方自分たちの世代の歌では若い人たちに届ききれない課題もある。祭典開催に向かつては、大音楽会ではこんなことが出来る、うたごえ会ではこんなことが：という議論が積み重ねられて決められれば、と思う。中央合唱団：志村

がいて、ただ何周年だから祭典をやる、ではもったいないと思った。佐賀は祭典をチャンスにして、自分たちの運動を大きくしようという意味で祭典を利用しては、今日出された祭典への不安意見など。答えは佐賀の祭典にあるのではない。今回祭典はちよ



中合の志村さん

うど良い時期、佐賀の教訓を私たちひとり一人が自分の町に引き寄せられれば、東京全体が変わっていくのでは。いろいろな

て、人生の思い出を作ってほしい。だからうたごえ祭典は早くやろう！今、高齢者が頑張らなくて誰が頑張るのか。中年や若い人は仕事に忙殺されていて頑張れない状況。今頑張っている高齢者には80周年は最後のチャンスだ！

日本シニア合唱団：松本

・佐賀の祭典では高齢者の舞台がなくて残念。80周年祭典ではぜひ高齢者の舞台を作りたい。

墨田どんぐり：小泉

・保育のうたごえでも現職が減っているが、この間オンラインで全国の保育メンバー52人、つながっている。

2022年愛知での交流会では「もう一人行進曲」が生まれ演奏、昨年の北海道でも演奏できた。「墨田どんぐり」は11/50周年コンサート開催。『どうれつしや』は今までも時々上演してきたが、初めてやった時は経験も無くゼロからのスタート。成功できる見通しもなく「やりたい」だけで突っ走った。今回は30代の親たち、2〜3歳の子どもも参加、95人の歌い手となった！しかしうたごえ運動

次回の80周年を語る会は

来年2月1日（土）13時から開催します。

会場は文京区男女平等センターA研修室です。

合唱団・サークルの中でも是非話し合いを！

のことは知らない人たちが、まだまだ自分たちが頑張っているって伝えないかな。若い人がいても、すぐに動けるわけではない。私たちが50周年祭典で受けた感動を伝えて、今この人たちに運動の担い手になってもらいたい。だから祭典はぜひやって欲しい！可能性は、信じていけば実現する、と思う。

第二回目うたごえ80周年を語る会を開催します

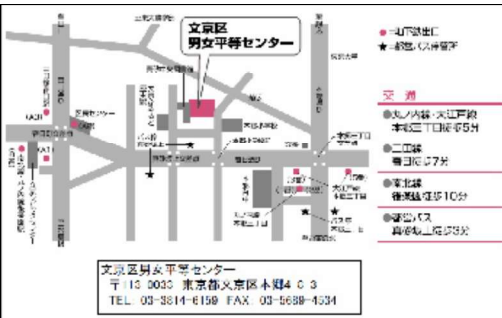
日本のうたごえ祭典は佐賀参加お疲れ様でした。久しぶりにうたごえ祭典らしい大音楽会だったと思います。合唱発表会でも日頃の成果を全国の方たちに聞いてもらい、東京から参加された団体がいくつも賞を頂きました。入賞されたところはおめでとうございました。入賞を逃した所もまた1年頑張りました。来年は神戸で11月22日(土)〜24日(月・祝)に祭典が開催されます。

先日11/2(土)の語る会はご連絡が遅くなり、多くの方に参加頂けませんでした。申し訳ありませんでした。

来年2/1(土)に再度「うたごえ80周年を語るついで」を開催します。前回参加できなかった方にも是非参加して想いを語って頂けたら嬉しいです。

佐賀祭典の余韻覚めやらぬところですが皆さんは今回の祭典をご覧になってどの様にお感じになりましたか？

ここ何年かの祭典はコンサートホールで2回、3回の入れ替えでの音楽会が中心でしたが、今回は佐賀アリーナという大きな会場で一堂に会しての大



音楽会でした。普通の音楽ホールで開くコンサートはこの地元でも出来ませんが、大きな会場でみんなが一堂に会して歌いあい聴きあえるのが日本のうたごえ祭典だと思いました。

東京のうたごえ新聞の拡大状況

東京の総会¹⁸以降現在

拡大¹¹⁷で現部数⁶³⁵です。

今期も残り三分の一ですので、ペースを上げないと目標の²⁰⁰に届きません。

購読延長の拡大はありますが、読めなくなったや購読期限等で減紙があり、まだ部数は回復していません。

23年度拡大数は、22年度¹⁴³に比して、かなり頑張り¹⁷⁵(指標²⁰⁰)でした。しかし大幅増紙に至らず部数は¹⁶⁵⁰前後でした。

引き続き「1」団体が1人の新しい仲間を迎え読者に「東京で年間²⁰⁰人の拡大」でまずは購読部数¹⁷⁰⁰の回復をめざします。

各ブロック担当やキーマンに電話で拡大のお願い、合唱発表会での拡大対策などを講じましたが、なかなか奏功していないのが現実です。早急に¹⁶⁵⁰回

復を。

各サークルに訴え拡大できていない団体を無くすように各ブロック内でも取組を強めてください。

常に促進の声かけをする体制が必要です。

うたごえ新聞はうたごえ協議会の機関誌ですから、ほとんどの方は読んでいます。まだ合唱団サークル内で読んでいない人には是非読んでもらいましょう。またうたごえをより知ってもらうため、まわりの人にも勧めましょう。

・歌う会や演奏会でうた新コーナーを設けたり、参加者のネットワークを活用するなどして拡大出来ると良いので、うたう会や演奏会の情報をブロック内の常任委員や東京の事務所に寄せてください。

またプログラムにうたごえ新聞の広告を載せて頂いたけるとありがたいです。

・購読延長をお願いする時には、『今まで読んで頂きどうでしたか？これからも引き続き読んで頂

ますか？』と声をかけ期限を設けない購読継続をお願いして欲しいです。拡大や延長が望ましいです。

先方から半年、一年間

足立のうたごえ祭典と一緒に歌いませんか？

東京合同演奏曲…人間のうた

申込みは東京の事務所までお願いします。

第41回

足立うたごえ祭典



ひびかせよう！

動きし 動きされる 歌声を！

2024年12月15日(日)

12時〜18時

足立区立西新井小学校体育館

協力券 500円(障害者 200円)

TEL 40-1222(足立区立西新井小学校) FAX 40-1222(足立区立西新井小学校)

会場 足立区立西新井小学校体育館(足立区西新井1-1-1)

ゲスト 高橋 宮 足立 アクションアカデミー

のぶき さん
のぶよ さん
勝之 さん
他

主催：足立うたごえ祭典実行委員会

【お問い合わせ】03-3851-8868 実行委員会 受付 所

東京合同「人間も歌」の演奏は13:55からです。

来年の東京の合唱発表会

来年の東京の合唱発表会日程・会場が決まりました。

- ・2025年9月20日(土) 21日(日)
板橋文化会館
- ・各ブロックの合唱発表会は
9月7日(日)までに終わるように
日程調整をお願いします。

- ・今のところブロックで日程・会場の
決まっているところ。

三多摩 7/5(土)
羽村プリモゆとろぎホール
三多摩南部 8/30(土)
調布市民会館たづくり くすのきホール
東部 9/7(日) カメリアホール
南部 9/13(土) 荏原文化センター
北部 9/13(土) 板橋文化会館

これからの催し物

12/15(日) 足立うたごえ祭典
西新井小学校体育館
詳細は5頁のチラシを参照して下さい。

12/20(金) JAL本社大包围行動
場所: JAL本社前
りんかい線天王洲アイル駅徒歩3分
時間: うたごえ17:30~
包围行動18:30~

12/22(日) 第38回みんなとピースサンデー
場所: リーブラホール
時間: 13:30開場 14:00開演
参加費: 1200円

2025 年
1/11(土)
墨田保育園うたごえサークルどんぐり
50 周年コンサート
曳舟文化センター

1/18(土)
墨田新婦人かなうたごえサークル
「新春うたう会」
墨田共生社会推進センター

1/19(日)
「ゾウ列車」が走って75周年記念
ファミリーコンサート
場所: セシオン杉並ホール
時間: 13:30開場 14:00開演

3/16(日) 野苺コンサート
豊洲シビックホール

4/20(日) 合唱団この灯 演奏会
江東文化センター

2024 東京のうたごえ合唱発表会を聴いて

日本のうたごえ全国協議会副会長
長野合唱団指揮者 渡辺 享則

10月12日に一般の部A・B、女性の部、10月14日に小編成の部、職場の部を楽しく聞かせてもらいました。総評が大変遅くなくて申し訳ありません。発表会はさすが東京、多方面から、様々な想いのこもった歌声を聴くことができました。手前味噌な話になりますが、私も「うたごえ」を知って55年になります。その最初

はもちろん、当時毎年東京で行われていた日本のうたごえ祭典、各地の素晴らしい合唱団の発表の中で、200人規模の職場合唱団、片や、たった二人で「職場で闘っている仲間を代表して「がんばろう」を歌います」と胸を張った合唱発表など、うたごえ運動の原点を知る沢山の経験をしました。その伝統が生きている、



当日の講評結果発表

と東京の合唱発表会ではいつもそう感じています。その上で、先ず、もっと個性的でありたい、と感じました。全体として

まとまりのある演奏が続きました。安定感もある。これに対して、講評委員会では、やや厳しい指摘が続きました。

第一日目では、発声がしつかりしているところは伝わってくるが、そうでないところが多くて気になる。言葉が届かない。音程が悪い、息が吐けていない。子音、母音の意識を。会場の響き、特徴をどう感じるか。言葉のつながり、日本語の発音をもっと意識したい。(歌っている)歌に対する共感がどうなんだろう? もっと、その合唱団らしい音楽があつていいはず。また、女性の部では、やや元気がないかなあ、と思います。やはり表情の良い合唱団が音楽も届きます。基本は発声、声

を合わせることに、響きの方向を前に揃えることが肝心です。第二日目の演奏でも同様なことが言えますが、個性的で楽しい演奏が多かったです。こちらの方が前述の第一日目よりも客席に届いていました。しかし、やはり言葉の表現はもっと鮮明にしたい。整え方をどこで合わせるか、音が言葉か、合うとパワーが出る。特に想いを込めた演奏が印象的ですが、音のタイミングが言葉のイントネーションか、その両方が合うと説得力が増す。これは、指揮の力、技術も大きいと

こころです。あらためて、全体としては豊かな合唱活動が展開されていると思います。目の前に誰を思い浮かべて歌うか、楽譜に向かうのではなく人に向かつて歌う、想像力を十分に働かせる。高齢化は否めませんが、知識と経験は豊富、体の支えをしっかりととして音が逃げないように歌いたい。加えて、若者を巻き込んで歌うことも重要だと思います。互いの接点を多く持つことによって、次の世代に向かう合唱運動を進めたいと感じる合唱発表会でした。